

健康・礼儀・努力 (目標達成)
 ~何事にも一生懸命に頑張る球磨中央高生~

● 「人吉球磨復興企画 チャレンジショップ連携事業開催」



7月25日(日)の日曜日に、人吉・球磨地区の復興支援企画として、錦町の特産品である「梨」の販売を中心とする、チャレンジショップ連携事業を開催しました。本校が存在する錦町は「剣豪とフルーツの里」であり、その錦町をPRしようと、3年生の課題研究の授業の一環として、生徒たちが主体的に取り組んでくれました。活動場所も錦町からご提供いただいた、サンロードショッピングセンター横の空き倉庫を活用させていただきました。

錦梨の「幸水」「夏しずく」「築水」の3種類の梨を販売しましたが、同じ梨でも色々な銘柄があることを知る貴重な機会ともなりました。生徒たちは、少しでも商品知識だけでなく、生産者の方の梨を育てる愛情を知りたく、前日の24日(土)には、梨の収穫も体験させていただきました。その経験を、当日の販売に生かしていたようです。当日は、多くのお客様においでいただき、この企画にご協力いただきました。熊本市から仕事で来られていた医療従事者の方にも購入いただきました。また、ご多様な中、森本 完一錦町長様も激励においでいただき、生徒たちも一段と気合いが入ったようです。

この企画での益金は、復興支援に全額寄付し、今後も高校生の方で、継続した復興支援活動を行う予定です。ご協力、ご支援いただきました多くの皆様方に心より感謝申し上げます。



● 生徒商業研究発表大会優勝 (7連覇)



第30回熊本県高等学校生徒商業研究発表大会が、7月28日(水)にくまもと県民交流館で行われ、見事本校が優勝しました。昨年度は、コロナの関係で大会が中止となりましたが、中止を挟み、これで7連覇達成となりました。今年の研究テーマは、「人吉球磨は負けない～豪雨災害、コロナ禍からの復興～」です。昨年7月の豪雨災害から復興に向けた様々な取組みを行ってきた研究を10分間に凝縮し、発表を行いました。被災された企業の方々の商品を全国に向けてPRする「ポータルサイト運営」「復興支援販売」、また、コロナ禍で外出を控える中、オンラインで販売員とお客様が実際に会話をしながら、リアルタイムで販売する「ライブコマース」など、様々な研究をこの1年間かけて取り組んできた成果が大いに表れた、素晴らしい発表でした。何よりも、発表する生徒たちの堂々とした姿には、大変感動しました。

「生まれ育った人吉球磨を、必ず自分たちの手で復興させます」という力強い言葉に、会場におられた審査員の方々、運営や引率の各校の先生方、そして、他校の生徒の皆さんの心に強く響いたのではないかと思います。

今度は、8月に福岡県で開催される九州大会です。更に発表に磨きをかけ、全国大会出場をぜひ勝ち取ってほしいと思います。そして、この発表をとおして、全国に人吉球磨地域をPRしていきたいという生徒たちの思いが叶うことを願うばかりです。

